

1. 序論

今日は、罪深い人間の状態、そして、罪深い人間を新しく変えてくださる神さまの恵みを教えられたいと願っています。

2. 本論

2.1 人の心の状態 (エレミヤ 17 章 9-10 節)

「人の心は何よりもねじ曲がっている」(17:9)と聖書ははっきり言います。心がまっすぐではない状態、すなわち、人の心は陰険で浅ましく、邪悪な心だと聖書は言います。

そして、人の心は「何よりも」ねじ曲がっています。ねじ曲がっていて陰険なもの、その代表格が「人の心」であると聖書は言います。

すべての人の心はねじ曲がっています。しかも「それは癒やしがたい」(17:9)ものです。自分で治療することができません。ねじ曲がっているものを自分の力で解決することができません。

しかも人は、自分の心の陰湿さを周りに知られたくないから、それを隠そうとします。そして、周りに知られないようにして自分の生活を続けます。確かにその方が世間的には上手な生き方かもしれませんが。

しかし、いつまでも隠していればよいという問題ではなくなります。なぜなら、神さまが私たちの心を探られるからです。続く 10 節にはこうあります。「わたし、主が心を探り、心の奥を試す。正しく、聖なる神さまが自分の心すべてをご存知です。癒やしがたいほどに自分の心がねじ曲がっているという事実を神さまはご存知です。だからこそ、私たちは内面が変えられる必要があります。

2.2 新しく変えられる (エレミヤ 31 章 31-34 節)

「わたしは、わたしの律法を彼らのただ中に置き、彼らの心にこれを書き記す。」(31:33) 私たちの心に、神さまのことばが直接書き記されると言います。それは、神さまのことばがもはや離れないということです。私たちの心と神さまのことばが密接な関係になると言います。これこそ、私たちの心に起こる新しい変化です。

そして、神さまが私たちの心にみことばを書き記してくださるということは、罪の赦しが含まれていることでもあります。「わたしが彼らの不義を赦し、もはや彼らの罪を思い起こさない…」(31:34)。罪を赦すというのは罪を思い出さないということ。まるで初めから私たちに罪が存在しなかったかのように、神さまは私たちの罪を完全に赦してくださいます。ただただ、神さまからの一方的な恵みです。私たちの内に何か素晴らしいものがあつたからではありません。むしろ、先ほど確認したように、私たちの心はねじ曲がっています。そうであるにも関わらず、神さまは私たちの心にみことばを書き記してくださいます。新しい変化を与えてくださいます。私たちの罪を思い起こさず、完全な赦しを与えてくださいます。そして、これらのことは神の御子イエス・キリストによって実現されました。

3. 結論と適用

コリント人への手紙第二 5 章 17 節「だれでもキリストのうちにあるなら、その人は新しく造られた者です。古いものは過ぎ去って、見よ、すべてが新しくなりました。」イエス・キリストによって新しい心、新しい歩みもたらされます。イエス・キリストを自分の罪からの救い主と信じる者は罪が完全に赦され、新しい歩みにあずかることができます。イエスさまによる新しい歩みが私たちに備えられています。この新しい歩みに感謝し、イエスさまによって備えられた新しい道を歩み続ける者とならせていただきたいと願います。